



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 リズム時計工業株式会社

コード番号 7769 URL <http://www.rhythm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 笠間 達雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 奥田 伸一郎

TEL 048-643-7213

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	15,822	28.0	934	187.8	1,073	179.8	556	223.9
24年3月期第2四半期	12,357	△7.1	324	△45.3	383	△36.9	171	△41.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 184百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △235百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	4.56	—
24年3月期第2四半期	1.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	37,401	30,040	80.3
24年3月期	40,236	31,167	77.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 30,040百万円 24年3月期 31,167百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	7.1	1,500	9.1	2,000	18.0	1,100	8.9	9.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	132,178,939 株	24年3月期	132,178,939 株
25年3月期2Q	14,532,397 株	24年3月期	8,535,434 株
25年3月期2Q	121,978,999 株	24年3月期2Q	122,698,325 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料は同日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年発生しました東日本大震災からの復興需要が緒についたものの、個人消費が停滞していることに加え、長期にわたる円高トレンドや欧州経済に端を発した海外経済の混乱などを背景に、景気の減速感が急激に広がるなど依然不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、収益基盤の強化とともに売上高の拡大に取り組んでおります。時計事業は、国内では販売数量、平均販売価額とも前年よりアップし、また海外販売の売上拡大とあわせ増収となり、収益改善策や増収などの影響などにより増益となりました。電子事業は、自動車機器分野（カークロック）の不振を情報機器分野や映像分野でカバーし、増収増益となりました。プレジジョン事業は、第1四半期に昨年の大震災により落ち込んでいた受注が回復し増収となりました。接続端子事業は、海外における販売は堅調に推移しておりますが、国内においては厳しい状況が続いております。

以上のことから、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、158億22百万円となり前年同期123億57百万円に対し28.0%の増収となりました。営業利益は、9億34百万円となり前年同期3億24百万円に対し187.8%の増益となりました。経常利益は、10億73百万円となり前年同期3億83百万円に対し179.8%の増益となりました。これらに投資有価証券評価損2億17百万円を計上するなどした結果、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は5億56百万円となり前年同期1億71百万円に対し223.9%の増益となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

①時計事業

クロックの国内販売は、新型の販売やギフト商品の売上が順調に推移し、売上高は前年同期に比べ増収となりました。非クロックの販売は、前期に引き続き防災行政ラジオ、温湿度計、当期より販売いたしましたUSBファンの販売が好調に推移し、売上高は前年同期に比べ増収となりました。海外販売は、北米では新規顧客への販売活動により、その他の地域においても現地代理店と販売プロモーションを実施するなど積極的な拡販活動を行い、売上高は前年同期に比べ増収となりました。

この結果、時計事業全体としては、増収となりました。利益の面におきましては、増収効果、原価率の改善、販売コストの削減など継続的に推進しております収益改善策などにより、営業利益は前年同期に比べ増益となりました。

以上のことから、時計事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は61億34百万円となり、前年同期56億20百万円に対し9.1%の増収となりました。営業利益は7億36百万円となり、前年同期4億51百万円に対し63.4%の増益となりました。

②電子事業

電子事業におきましては、新たな取引先の開拓のほか、グループの技術を活かした商品開発や顧客企業に企画提案を積極的に行い、業容の拡大に努めてまいりました。情報機器分野では新商品の販売が、映像機器分野では車載用後方監視カメラを中心とした売上が好調に推移し自動車機器（カークロック）分野の回復遅れをカバーしました。

この結果、電子事業全体としては増収となりました。利益の面におきましては、増収効果、原価率の改善の影響などにより、営業利益は前年同期に比べ増益となりました。

以上のことから、電子事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は37億99百万円となり、前年同期36億8百万円に対し5.3%の増収となりました。営業利益は1億75百万円となり、前年同期12百万円に対し1,274.7%の増益となりました。

③プレジジョン事業

プレジジョン事業におきましては、顧客企業に積極的に企画提案を実施し、海外展開及び新規顧客開拓に注力し事業の拡大に努めております。第1四半期での増収により累計期間では増収となりましたが、第2四半期に入り受注減・原価悪化などにより営業損失となりました。

以上のことから、プレジジョン事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は30億88百万円となり、前年同期27億82百万円に対し11.0%の増収となりました。営業損失は前年同期43百万円の損失に対し、今期24百万円の損失となりました。

④接続端子事業

接続端子事業は、海外における販売は順調に推移しておりますが、国内においては回復が遅れております。

以上のことから接続端子事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は24億17百万円、営業利益は1億59百万円となりました（前年同期は貸借対照表のみを連結しているため前年同期比較は行いません）

⑤その他

物流事業、介護事業等その他の事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は3億82百万円となり、前年同期3億46百万円に対し10.4%の増収となりました。営業利益は38百万円となり、前年同期18百万円に対し107.0%の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

総資産は374億1百万円となり、前連結会計年度末402億36百万円に比べて28億35百万円減少しました。流動資産は、現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ19億24百万円減少しました。固定資産は投資有価証券の減少などにより、前連結会計年度末に比べ9億10百万円減少しました。

(負債)

負債合計は73億60百万円となり、前連結会計年度末90億69百万円に比べて17億8百万円減少しました。流動負債は、短期借入金の返済などにより、前連結会計年度末に比べ15億68百万円減少しました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億40百万円減少しました。

(純資産)

純資産合計は300億40百万円となりました。前連結会計年度末に比べ、自己株式の取得などにより、11億26百万円減少しました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ、22億83百万円減少し、80億44百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が9億7百万円となったことなどにより、4億88百万円の資金の増加（前年同期に比べ5億21百万円の収入減）となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより、1億70百万円の資金の減少（前年同期と比べ19億39百万円の支出減）となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済や自己株式の取得による支出などにより、25億16百万円の資金の減少（前年同期は12億57百万円の資金の増加）となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、本日（平成24年11月8日）発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,967	5,955
受取手形及び売掛金	8,874	7,917
有価証券	2,500	2,300
たな卸資産	5,670	6,819
その他	754	848
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	25,761	23,837
固定資産		
有形固定資産	5,395	5,219
無形固定資産		
のれん	1,636	1,550
その他	928	927
無形固定資産合計	2,565	2,478
投資その他の資産		
投資有価証券	4,643	4,055
その他	2,005	1,943
貸倒引当金	△134	△133
投資その他の資産合計	6,513	5,866
固定資産合計	14,474	13,564
資産合計	40,236	37,401
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,803	4,077
短期借入金	1,000	—
未払法人税等	668	347
賞与引当金	222	236
その他	1,834	1,298
流動負債合計	7,528	5,960
固定負債		
退職給付引当金	544	548
役員退職慰労引当金	30	—
その他	966	851
固定負債合計	1,541	1,400
負債合計	9,069	7,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,372	12,372
資本剰余金	15,951	15,951
利益剰余金	3,915	4,163
自己株式	△1,196	△2,197
株主資本合計	31,043	30,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	464	157
為替換算調整勘定	△341	△407
その他の包括利益累計額合計	123	△249
純資産合計	31,167	30,040
負債純資産合計	40,236	37,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	12,357	15,822
売上原価	9,080	11,331
売上総利益	3,276	4,490
販売費及び一般管理費	2,952	3,556
営業利益	324	934
営業外収益		
受取利息	18	9
受取配当金	63	63
受取賃貸料	109	106
信託収入	95	93
その他	31	50
営業外収益合計	317	323
営業外費用		
支払利息	6	9
出向費用	30	6
賃貸費用	41	54
信託費用	39	57
為替差損	116	49
その他	24	7
営業外費用合計	259	185
経常利益	383	1,073
特別利益		
固定資産売却益	1	96
保険解約返戻金	136	—
その他	—	6
特別利益合計	138	103
特別損失		
固定資産処分損	13	12
投資有価証券評価損	69	217
関係会社清算損	—	39
その他	2	—
特別損失合計	86	269
税金等調整前四半期純利益	435	907
法人税、住民税及び事業税	271	361
法人税等調整額	△7	△11
法人税等合計	263	350
少数株主損益調整前四半期純利益	171	556
四半期純利益	171	556

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	171	556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△293	△306
為替換算調整勘定	△114	△65
その他の包括利益合計	△407	△372
四半期包括利益	△235	184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△235	184

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	435	907
減価償却費	321	371
のれん償却額	—	85
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△2
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	35	18
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10	14
受取利息及び受取配当金	△81	△73
支払利息	6	9
為替差損益 (△は益)	77	43
固定資産処分損益 (△は益)	13	12
固定資産売却損益 (△は益)	△1	△96
投資有価証券売却損益 (△は益)	2	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	69	217
保険返戻金	△136	—
関係会社清算損益 (△は益)	—	39
売上債権の増減額 (△は増加)	792	877
たな卸資産の増減額 (△は増加)	127	△1,183
仕入債務の増減額 (△は減少)	△71	378
その他	△484	△565
小計	1,120	1,053
利息及び配当金の受取額	81	74
保険金の受取額	136	—
利息の支払額	△6	△9
法人税等の支払額	△281	△676
災害損失の支払額	△38	—
補助金の受取額	—	47
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,010	488
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△3	△78
有形固定資産の取得による支出	△114	△235
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△91	△19
無形固定資産の売却による収入	—	135
投資有価証券の取得による支出	△10	△3
投資有価証券の売却等による収入	523	27
短期貸付けによる支出	△300	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,116	—
その他	0	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,110	△170
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,500	△1,000
社債の償還による支出	—	△210
自己株式の取得による支出	△0	△1,001
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△242	△304
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,257	△2,516
現金及び現金同等物に係る換算差額	△91	△85
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	65	△2,283
現金及び現金同等物の期首残高	10,209	10,328
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,274	8,044

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 2	合計
	時計事業	電子事業	プレジジョン事業	接続端子事業 (注) 1	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,620	3,608	2,782	—	12,010	346	12,357
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	157	196	—	371	510	882
計	5,638	3,765	2,978	—	12,382	857	13,239
セグメント利益又は損失 (△)	451	12	△43	—	420	18	438

(注) 1. 当第2四半期連結会計期間において、接続端子等の製造・販売を営む協伸工業株式会社の株式を取得し、同社及びその子会社KYOSHIN VIETNAM CO., LTD.・KYOSHIN INDUSTRY ASIA PTE LTD. を連結の範囲に含めたことに伴い、接続端子事業が加まりました。みなし取得日を平成23年9月30日としており、当第2四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び介護事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	420
「その他」の区分の利益	18
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△110
棚卸資産の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	324

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間において、当社は協伸工業株式会社の株式を取得し、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,142百万円であります。なお、当該事象によるのれんの増加額は、「接続端子事業」セグメントより発生しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	時計事業	電子事業	プレジジョン事業	接続端子事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,134	3,799	3,088	2,417	15,439	382	15,822
セグメント間の内部売上高又は振替高	33	13	101	—	147	531	679
計	6,167	3,812	3,190	2,417	15,587	914	16,501
セグメント利益又は損失(△)	736	175	△24	159	1,046	38	1,085

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び介護事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,046
「その他」の区分の利益	38
セグメント間取引消去	27
全社費用（注）	△164
棚卸資産の調整額	△13
四半期連結損益計算書の営業利益	934

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。